

## 奥入瀬を担う人財育成、専門知の集積・発信を目的に 第2回奥入瀬アカデミーを開催します

奥入瀬アカデミーとは、奥入瀬の魅力や価値等の発信、知的情報の蓄積、奥入瀬に関与する人材の育成などを目的に、産学官連携で取り組む継続教育プログラムの総称です。

過年度に実施した小中学生を対象としたフィールド体験学習など、子どもから大人まで幅広い層が奥入瀬の自然をまるごと「学び」の場として活用できる機会を提供することで、教育カリキュラムと観光資源とを融合させたバーチャル学校の開校を目指しています。

先日5月19日には、第1回目の講演として、森林生態学のご専門の国立研究開発法人森林研究・整備機構の中静透理事長をお招きして「奥入瀬を野外博物館化するために必要なこと ～エコツーリズム推進全体構想を受けて～」をご講演いただきました。

この度、第2回目の講演として、植物学のご専門の東京大学大学院理学系研究科の塚谷教授をお招きして「奥入瀬における野生植物観察 ～その楽しみ方と意義～」をご講演いただきますので、周知、報道方よろしくお願いいたします。

なお、別添パンフレットのとおり、令和6年度は、有識者を招聘した4回の専門講座のほか、奥入瀬の自然の基礎と、野外博物館構想を知って頂くための「未来の奥入瀬講座」を6回開催しますので、併せて周知、報道方よろしくお願いいたします。

### 記

1. 日時 令和6年6月18日（火）18:00～20:00
2. 場所 十和田市地域交流センター「とわふる」 大ギャラリー
3. プログラム
  - ・主催者挨拶 （青森県県土整備部道路課）
  - ・基調講演「奥入瀬における野生植物観察 ～その楽しみ方と意義～」

東京大学大学院理学系研究科教授・放送大学客員教授 塚谷 裕一

報道機関用提供資料	
担当課	県土整備部道路課
担当者	整備推進G 能登谷 武範
電話番号	直通：017-734-9651 内線：6712
報道監	県土整備部次長 米田 均



奥入瀬アカデミー

# OIRASE ACADEMY

- 専門講座【アカデミー講座】
- 県民出前講座【未来の奥入瀬講座】
- エコツアーガイド養成講座
  - ★ 初級コース
  - ★ スキルアップコース

本リーフレットに記載の情報は、2024年5月1日現在のものです。  
開催日時や内容に変更が生じる可能性があります。



奥入瀬アカデミーの  
詳細・最新情報は  
←こちらから  
(奥入瀬フィールドミュージアム)

<https://oirase-fm.com/>



About Oirase Academy

## 奥入瀬アカデミーがめざすもの

奥入瀬に学び、奥入瀬を楽しむ。

エコツーリズムの未来と、

奥入瀬を愛する人々の〈輪〉を広げる新たな試みです。

国立公園特別保護地区および国指定天然保護区域(天然記念物)である溪畔森林環境を国道が貫通しているという、他に例のない自然公園である奥入瀬を、多様な視点で解析し、その成果を広く共有していくことを主な目的としています。

奥入瀬アカデミーは ①専門講座、②県民出前講座、③エコツアーガイド養成講座の3つの主で構成されます。それぞれの興味関心・趣味嗜好を刺激する、知的好奇心に満ちたラインナップで講座を展開していきます。

「奥入瀬のことを、もっと知りたい」と思う人であれば、どなたでも参加可能。このアカデミーの〈学長〉は奥入瀬そのものです。奥入瀬を学び、奥入瀬を楽しむ。見流すだけの観光地から、「観る」を味わう観光地への転換。それが「奥入瀬アカデミー」が目指す未来です。

●奥入瀬アカデミー事務局

奥入瀬溪流館ガイドカウンター、  
NPO 法人奥入瀬自然観光資源研究会

【電話】0176-74-1233

【メール】info@oiken.org

奥入瀬アカデミーの  
詳細・最新情報は  
←こちらから  
(奥入瀬フィールドミュージアム)



主催：奥入瀬十和田利活用協議会

奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会  
青森県

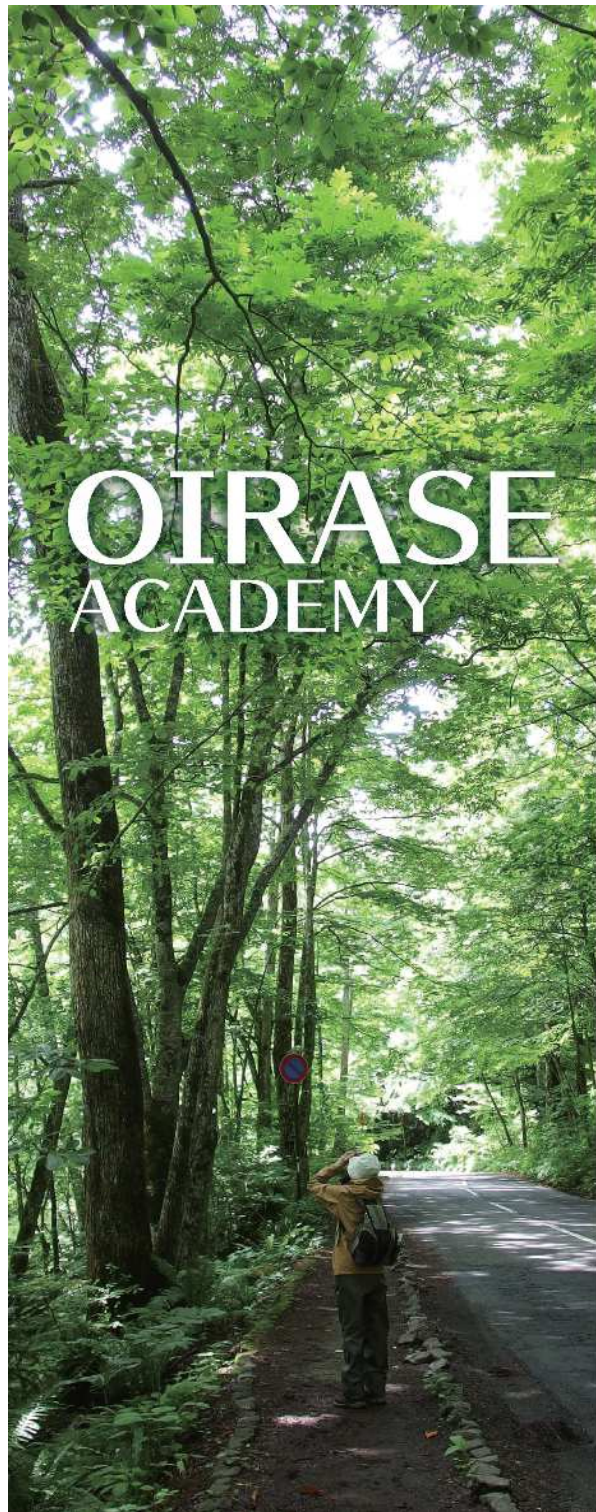
後援：国土交通省東北地方整備局青森河川国道事務所

環境省東北地方環境事務所十和田八幡平国立公園管理事務所  
十和田市

一般社団法人十和田奥入瀬観光機構







# 1 専門講座 アカデミー講座

森林・溪流生態、地形・地質・地史、森と水の循環など、専門知見を有する識者から〈奥入瀬の魅力と価値〉を講演いただく講座です。

- ▶対象 エコツアーガイド、ネイチャーガイド、奥入瀬や自然に関心のある一般の方、行政関係者、観光業関係者
- ▶参加費 無料
- ▶定員 各回80名
- ▶申込方法 WEB申し込み。  
※各回毎に、専用の予約フォームからお願いします。



## ◎開催スケジュール(予定)

	第1回	第2回	第3回	第4回
日時	5/19(日) 13:00~16:00	6/18(火) 18:00~20:00	9/14(土) 10:00~14:00	11/16(土) 13:00~16:00
会場	十和田市地域交流センター「とわふる」 (大ギャラリー) 十和田市稲生町16-1	十和田市地域交流センター「とわふる」 (大ギャラリー) 十和田市稲生町16-1	十和田市民文化センター (第4研修室) 十和田市西三番町2-1	十和田市民文化センター (第4研修室) 十和田市西三番町2-1
テーマ	奥入瀬を野外博物館化するために必要なこと ーエコツーリズム推進全体構想を受けてー	奥入瀬における野生植物観察 ーその楽しみ方と意義ー	(仮)奥入瀬の観光とモビリティ ー野外博物館構想の実現に向けてー	(仮)地域一体となった 野外博物館の実現に向けて
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●森林生態学の観点からみた奥入瀬の特徴</li> <li>●東北、日本、海外の視点からみた奥入瀬の「立ち位置」(魅力と評価、問題点)</li> <li>●奥入瀬~八甲田山麓フナ林の歴史的な変遷</li> <li>●自然観光資源を生かしたエコツーリズムの在り方とモニタリング調査へのアドバイス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●菌従属栄養植物</li> <li>●樹上着生ラン類</li> <li>●国道擁壁の「スキマ植物」</li> <li>●ガイドが奥入瀬の野生植物を案内する際の知見</li> <li>●地域の自然観光資源に対する意識向上</li> <li>●「奥入瀬野外博物館構想」へのアドバイス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●観光とモビリティ</li> <li>●グリーンスローモビリティ</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ジオパークの観点から見た奥入瀬の特徴</li> <li>●地域住民と一体となったエコツーリズムの知見</li> <li>●地域住民と連携した事業推進</li> </ul>
講師	 <p><b>中静 透</b> Toru Nakashizuka 国立研究開発法人森林研究・整備機構理事 森林総合研究所所長 東北大学名誉教授</p> <p>1956年新潟県生まれ。 1983年大阪府立大学大学院理学研究科修士、理学博士。 白神山や八甲田山、十和田に広がる東北のフナ林を研究フィールドとしてきた森林生態学者。 森林の変化を定点観測し、地球温暖化が生態系に与える影響を調査研究。 2011年「日本生態学会賞」、2007年「みどりの学術賞」などを受賞。 著書に「森のスケッチ」、共編著に「森林の変化と人類」など。</p>	 <p><b>塚谷 裕一</b> Hirokazu Tsukaya 東京大学大学院理学系研究科教授 放送大学客員教授</p> <p>1964年神奈川県生まれ。 1993年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了、理学博士。 発生生物学、系統分類学を専門とする植物学者。葉の発生を司る遺伝子経路の解明を主たるテーマとしつつ、ボルネオなど東南アジア熱帯雨林に分け入って新種の菌寄生植物を分類するなど、さまざまな角度から植物を研究。 2023年「南方熊楠賞」、21年「紫綬褒章」などを受賞。 「カラー版スキマの植物図鑑」など一般向けのユニークな著書が多数ある。</p>	 <p><b>三重野 真代</b> Mayo Mieno 東京大学公共政策大学院交通・観光政策研究ユニット特任准教授 一般財団法人運輸総合研究所客員研究員</p> <p>大分県出身。 京都大学経済学部卒、ロンドンスクールオブエコノミクス(LSE)都市政策修士号取得。 2003年国土交通省に入省。観光庁観光資源課専門官、京都市役所産業観光局MICE戦略推進担当部長、総合政策局環境政策課課長補佐、復興庁企画官(東北観光復興担当)を経て2021年より現職。 2021年に「グリーンスローモビリティ〜小さな電動車が地域と公共交通を変える〜」(芸芸出版社)を編著出版。</p>	 <p><b>野邊 一寛</b> Kazuhiro Nobe 一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構業務執行理事</p> <p>隠岐の島町(旧都方村)出身。国立松江工業高等専門学校に進学し、卒業後は大手建設会社に入社。 1994年にUターン、役場職員として勤務。2007年にジオパークという活動に出会い、ジオパークによる隠岐地域の地域振興を提言。「隠岐ジオパーク推進協議会」の設立に携わる。2014年「隠岐ジオパーク推進協議会」事務局長。2022年から現職。日本ジオパークネットワーク事務局次長も務める。</p>
お申し込み	終了しました。			



## 2 県民出前講座 未来の奥入瀬講座



現在、奥入瀬渓流エリアでは、青楓山バイパス（奥入瀬渓流沿いの国道を迂回するトンネル工事）の整備が進められています。工事完成後は、マイカー交通規制が敷かれる予定であり、これまでの観光利用のスタイルが一変します。青森を代表する観光地・景勝地である奥入瀬渓流の動きを県民の皆さんと広く共有します。

- ▶ 対 象 奥入瀬や自然に関心のある青森県民、観光行政関係者、観光業関係者
- ▶ 参加費 無料
- ▶ 定 員 各回50人程度
- ▶ 申込方法 WEB申し込み



← こちらからもお申し込み可能

### ◎講座内容(予定)

第一部  
講演時間  
45分

#### 奥入瀬の魅力とこれから



◎講師  
NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会  
理事 川村祐一

1955年十和田市生まれ。2007年、十和田湖カヌーや奥入瀬ネイチャーツアーを催行するアクティビティ会社(株)ノースビレッジを設立。その後、2012年NPO法人設立に関わり、自身も奥入瀬渓流のエコツアーガイドとして活躍中。2019年から奥入瀬エコツアーガイド養成講座の講師・運営に携わる。全国のガイド養成講座等での講師も多く務める。



第二部  
講演時間  
45分



#### 野外博物館構想

ートンネル工事で変わる奥入瀬観光ー

◎講師  
青森県県土整備部道路課

### ◎開催スケジュール(予定)

	開催日	時間	会場	
第1回	6/29(土)	13:00~14:30	八戸市	YSアリーナ(多目的室) 八戸市売市奥遊下3-3
第2回	7/27(土)	13:00~14:30	弘前市	弘前文化センター(第3会議室) 弘前市下白銀町19-4
第3回	8/24(土)	13:00~14:30	青森市	アピオ青森(大研修室1) 青森市中央3-17-1
第4回	11/29(金)	18:00~19:30	五所川原市	五所川原市中央公民館(第一会議室) 五所川原市ーツ谷504-1
第5回	12/11(水)	18:00~19:30	むつ市	むつ来さまい館(イベントホールB) むつ市田名部町10-1
第6回	<sup>2025</sup> 1/18(土)	13:00~14:30	十和田市	十和田市民文化センター 十和田市西三番町2-1



### 3 エコツアーガイド養成講座 初級コース

奥入瀬渓流のゴールデンコースと言われる(石ヶ戸～雲井の滝)をガイドできるようになることをゴールに、自然の知識やガイドスキルを学ぶ講座です。

- ▶ 対象 将来エコツアーガイドとして活躍してみたい、奥入瀬の自然を深く学びたいという方
- ▶ 参加費 受講料は無料  
※フィールド研修時は、傷害保険として500円/回を徴収します。
- ▶ 定員 約20名(定員になり次第締め切ります)
- ▶ 開催場所 奥入瀬渓流/奥入瀬渓流館
- ▶ 申込方法 WEB申し込み



← QRコードからお申し込みください。

- ▶ 申込条件 全8回開催のうち、6回以上参加の方に修了証をお渡しいたします。
- ▶ 講師 NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会  
● 理事長 丹羽裕之  
● 理事 河井大輔/川村祐一 ほか

#### ◎開催スケジュール(予定)

回数	日時	内容	概要説明
第1回	7/6(土) 9:00~15:00	ガイダンス	エコツアーガイドとは 奥入瀬の魅力と価値
		基礎講座Ⅰ	
第2回	7/20(土) 9:00~15:00	フィールド研修	ツアー体験
		基礎講座Ⅱ	奥入瀬フィールドミュージアムとは
第3回	8/17(土) 9:00~15:00	基礎講座Ⅲ	奥入瀬の成り立ちと植物
		ツアー研修	ガイドトレーニング(座学)
第4回	9/7(土) 9:00~15:00	ツアー研修	ガイドトレーニング(フィールド)
第5回	9/21(土) 9:00~15:00	ツアー研修	ガイドトレーニング(座学)
第6回	10/5(土) 9:00~15:00	ツアー研修	ガイドトレーニング(フィールド)
第7回	10/26(土) 9:00~15:00	ツアー実践	マイカー交通規制 (奥入瀬渓流エコロードフェスタ)に 合わせたツアー実践
	10/27(日) 9:00~15:00		
第8回	11/9(土) 9:00~15:00	振り返り	振り返り研修、修了証授与

### 4 エコツアーガイド養成講座 スキルアップコース

ガイドスキルや知識の更なる習得をめざした講座です。  
テーマごとに専門講師をお招きします。

- ▶ 対象 過年度のネイチャーガイド養成講座修了生、奥入瀬で活動しているネイチャーガイド
- ▶ 参加費 受講料は無料  
※フィールド研修時は、傷害保険として500円/回を徴収します。
- ▶ 定員 各回約20名  
(定員になり次第締め切ります)
- ▶ 開催場所 【座学】奥入瀬渓流館または十和田市内  
【フィールド】奥入瀬渓流 及び 十和田湖
- ▶ 申込方法 WEB申し込み



← QRコードからお申し込みください。

#### ◎開催スケジュール(予定)

回数	日時・会場	講座内容・講師	日時・会場	講座内容・講師
第1回	7/3(水) 9:30~14:30 ・奥入瀬渓流館 ・奥入瀬渓流	座学 + フィールド 奥入瀬渓流の コケ植物について 奥入瀬渓流のコケ植物の 概要や特徴などを学びます。	第5回	11/17(日) 9:30~16:00 ・奥入瀬渓流館 ・奥入瀬渓流 ・十和田湖  座学 + フィールド 八甲田山・十和田湖・ 奥入瀬渓流の成立ちについて 八甲田山、十和田湖及び奥入瀬渓流の 地史・地質を新情報を交えて学びます。 産業技術総合研究所 地質情報研究部門 地殻岩石研究グループ 研究グループ長 工藤 崇
		講師 株式会社 ESARIO エコツアーガイド テラリウム工房 代表 伊藤 宏		
第2回	7/10(水) 9:30~14:30 ・奥入瀬渓流館 ・奥入瀬渓流		第6回	12/4(水) 9:30~14:30 十和田市民 文化センター (第4研修室)  座学 大町桂月の見た十和田 十和田湖や奥入瀬渓流を世に広めた 明治の文人・大町桂月(1869~1925年)について 学びます。 大町桂月を語る会 事務局 谷川 妙子
第3回	9/4(水) 9:30~14:30 ・奥入瀬渓流館 ・奥入瀬渓流	座学 + フィールド 樹木の同定法を学ぶ 樹木同定から「個」の 識別を学びます。	第7回	2025年 1/14(火) 9:30~14:30 十和田市民 文化センター (第4研修室)  座学 十和田奥入瀬と人との関わり 十和田湖と奥入瀬渓流の 人との関わりの歴史を学びます。 (一社)十和田奥入瀬観光機構 地域マネジメント部長 安藤 巖乙
第4回	9/11(水) 9:30~14:30 ・奥入瀬渓流館 ・奥入瀬渓流	講師 NPO法人 奥入瀬自然観光資源 研究会 理事長 丹羽裕之		